

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度 昭和25年度			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	03 障害者(児)福祉
事務事業名		12	障害者手帳交付事業
根拠法令・例規等		身体障害者福祉法 知的障害者福祉法 精神保健福祉法	
問合先		担当課(室)	社会福祉課
		職・氏名	障害者福祉係長 山本光男
		電話	0869-64-1824

事業の実施	
対(誰・何に対して)	身体・知的・精神障害者
目的(何のために)	福祉サービスの利用、税の控除、バス・JR等の割引に利用し、障害者の生活援助を行う。
行活動(どのような方法で)	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳を交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	福祉サービスの利用、税の控除、バス・JR等の割引に利用し、障害者の生活援助を行う。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
身体障害者手帳交付数	件	210	223	290
療育手帳交付数	件	32	27	76
精神障害者保健福祉手帳交付数	件	30	86	70
活動				
実績				
直接事業費	千円	0.50人 2,640	0.32人 1,302	0.28人 1,622
必要人員	人	2,640	1,302	1,622
必要人員費	千円			
国	円			
県	円			
支	円			
出	円			
金	円			
受	円			
益	円			
者	円			
負	円			
担	円			
源	円			
一	円			
般	円			
財	円			
源	円			
受	円			
益	円			
者	円			
負	円			
担	円			
比	円			
率	円			

結果指標名					単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績			
手帳交付数					説明	身体・療育・精神障害者保健福祉手帳の交付数					
結果指標①	結	果	指	標	量	272	336	436			
	対	前	年	比	%	-	123.5%	129.8%			
	活	動	コ	ス	ト	円	2,640,000	1,302,000	1,622,000		
	単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	9,706	3,875
結果指標②	結	果	指	標	量	-	-	-			
	対	前	年	比	%	-	-	-			
	活	動	コ	ス	ト	円	-	-	-		
	単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	-	-

事業の成果						
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値	
身体・療育・精神障害者保健福祉手帳の交付数	目標値(A)					
	実績値(B)		272	336	436	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						
申請に基づく事業のため、目標値設定は困難						

事務事業の評価			(平成20年度事業)		
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	A	判定理由・課題認識 法令で定められており、目的・対象・内容とも妥当である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明			
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	A	判定理由・課題認識 手帳の交付は岡山県で行い、受付等は効率的に処理している。
	手				
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E>	A	判定理由・課題認識 障害者のサービスの基礎となる事業であり、有効である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている			

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止 廃止・完了
説明	法令で定められており、目的・対象・内容とも妥当であるので、現状どおり継続する。					

総合評価	
障害者サービスの基礎となるものであり、そのニーズも多く、障害者福祉には欠かせない事業である。	評価区分 <A~E> A

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止 廃止・完了
説明	法令で定められており、目的・対象・内容とも妥当であるので、今後も継続する。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果	